

## ボランティアの募集を 開始しました!

ボランティアの派遣に向けて、現地状況の確認などを続けてきました。

5月末、現地において、「能登半島地震のための代表者の集い」が開催され、各教団やキリスト教団体の代表者、40団体70人が参加され、情報共有と現地視察が行われました。中道総務局長が教団を代表して参加くださいました。

そうした中、能登ヘルプからもボランティア派遣の要請も届きました。こうした状況を受け、まずは、6月24日(月)～28日(金)

(月・金は移動日)の日程で、山田緊急支援対策室長をリーダーとし、災害対策委員会委員を中心としたボランティアチームを派遣することを決定しました。現地でのボランティアに対する支援体制がどのような状況かよくわからないところもあり、その確認も兼ねての派遣です。

現地では、毎朝8時に内灘の支援ベースに集合し、祈りと奨励の後、能登ヘルプによるコーディネートのもと、各地に送り出されます。今回は、輪島市、珠洲市、志賀町で、被災者のお宅から家財の運び出しと災害ゴミの処分等を行いました。

今回、能登ヘルプによる現地コーディネートも十分な対応ができていることが確認できましたので、ボランティアチームの派遣を進めていくこととしました。

すでに、「ボランティアの参加案内」(教団ホームページにも掲載)が各教会にも届けられていますが、まず8月末まで、

- A. 7月29日(月)～8月2日(金)
- B. 8月19日(月)～23日(金)
- C. 8月26日(月)～30日(金)

のボランティアチームの派遣を計画しています。参加を希望される方は、まずは「参加案内」にしたがってご相談ください(連絡先：[mc.hikaru0325@gmail.com](mailto:mc.hikaru0325@gmail.com))。すでにA日程については、検討中の方も含め10名程度の参加希望をいただいています。

### <ボランティア参加者の声>

この度、「汗を流しつつの現地調査」ということで、ボランティアチームに加えていただいたことを心から感謝します。

ボランティア活動は、とすると自己満足になりかねません。「せっかく来たのだから、成果をあげたい」との思いから、日が暮れても活動し、被災者を肉体的にも、精神的にも疲弊させてしまうことがあります。ボランティアを受けている側は、「もう帰って欲しい」とは言い辛いものです。

能登ヘルプは作業時間を短く区切ります。10時～11時に現地入りし、15時には作業を終えます。「まだ出来るのに」との思いをよそに宿に帰ります。それは被災された方のペースを大切に、肉体的にも、精神的にも疲れさせない配慮です。

私にとってのボランティアは「肉を満足させる機会とせず、愛をもって互いに仕えなさい。」と語られるイエスさまの愛の実践を学ばせていただく貴重な機会でした。

「何をすることが愛することなのだろう」と被災者を愛することばかり考える、幸いな五日間をご一緒に過ごしませんか。

(影山光)



### 災害支援献金について

6月30日現在 献金額： 7,722,001円  
外部献金： 能登ヘルプ 1,000,000円  
石川県 1,000,000円  
被災教会(再調整中)

◎災害支援献金の送金先

(郵便振替)

00190-4-545635

(口座名)

日本ホーリネス教団緊急支援対策室

※5%は「緊急支援基金」へ繰入れ

※教団ホームページにも関連情報を掲載しています。